

草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	メキシコ合衆国
2. 案件名	メキシコ市における統合水資源管理に向けた上下水道サービス水準の向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	メキシコ市の上下水道の背景には、人口増加、気候変動、各水源からの利用にかかる乱開発、水システムの脆弱性、地盤沈下など多岐に渡る課題が存在している。それらの課題を解決するためには、課題の要因を的確に捉えた上で、利害関係者が総合的な観点での対応を行っていく必要がある。メキシコ市にはその考え方と行動内容を取りまとめた「統合水資源管理プログラム(PGIRH)」により統合的な考え方で対応していくという計画が示されている。本プロジェクトでは、メキシコ市が取り組む PGIRH の一部に技術協力を行うことで、メキシコ市の上下水道サービス水準が向上し、水資源管理のサイクルが円滑に行われるようになることを目指すものである。
4. プロジェクト目標	メキシコ市において、有効的に使われる水道水量の増加や雨水排水機能の改善など、上下水道分野におけるサービス水準が向上し、官民一体となった統合的な水資源管理の機運が醸成される。
5. 対象地域	メキシコ市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者：メキシコ市統合水管理局およびリスク統合管理・市民保護局職員 間接受益者：事業実施対象となる地区のメキシコ市民
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> メキシコ市内の上水道における管理水準が向上し、限られた水資源を効率よく提供することができる。 メキシコ市の既存の雨水排水施設が適正に機能し、浸水被害が軽減される。 統合水資源管理の実現に向けて、水資源の利害関係者による課題や情報の共有が定期的に行われる。さらに、新たな水源確保に向けて再生水利用の可能性が検討される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1：メキシコ市の配水管の情報、施工管理・維持管理基準、配水量・配水圧、有効水量などの情報を整理し、ベースラインを把握する。 1-2：CP に対し配水管の適正な施工管理・維持管理に関する講義を実施し、その内容を CP 内で共有する。 1-3：CP に対し、本邦企業より配水管の施工管理・維持管理に関する技術提案を行う。 1-4：プロジェクトを実施するモデル地区を選定する。 1-5：モデル地区における配水管の施工管理基準、維持管理計画を作成する。 1-6：モデル地区における有効水量（無効水量）の管理方法を構築する。 1-7：モデル地区の住民に対し、プロジェクトの内容と効果を説明し、節水意識の啓発を行う。 1-8：作成した基準、計画に基づく施工管理、維持管理を実施する。 1-9：モデル地区における活動が完了し、CP により実施報告書が作成される。 1-10：モデル地区におけるプロジェクトの検証をもとに、メキシコ市域への展開スケジュールを作成する。 1-11：一連の活動について、PGIRH についての効果を評価する。 2-1：メキシコ市の道路排水施設の情報や浸水被害の情報を整理し、ベースラインを把握する。 2-2：CP に対し下水管の維持管理や、浸水対策に関する講義を実施し、その内容を CP 内で共有する。 2-3：CP に対し、本邦企業より下水管の維持管理や、浸水対策に関する技術提案を行う。 2-4：プロジェクトを実施するモデル地区を選定する。 2-5：モデル地区における道路排水施設や雨水一時貯留施設の整備計画を作成する。 2-6：CP が作成した計画に基づき整備計画を実施するための助言を行う。 2-7：モデル地区の住民に対し、プロジェクトの内容と効果を説明し、道路排水施設の清掃に関する意識啓発を行う。 2-8：モデル地区内の市民と協働して、道路排水施設のボランティア清掃を実施する。 2-9：モデル地区における活動が完了し、CP により実施報告書が作成される。 2-10：モデル地区におけるプロジェクトの検証をもとに、メキシコ市域への展開スケジュールを作成する。 2-11：一連の活動について、PGIRH に対する効果を評価する。 3-1：水資源の流れや利害関係者との連携状況の現状を把握し、整理する。 3-2：処理水再利用などに関する講義を実施し、その内容を CP 内で共有する。 3-3：流域の連携手法に関する講義を実施し、その内容を CP 内で共有する。 3-4：水資源の利害関係者で構成された既存の組織の中で、水資源の利用や活用等に関する課題や取り組みについて情報を発信する。 3-5：統合水資源管理の実現に向けた課題と関連情報の整理を支援する。 3-6：他水系や水資源分野の研究者などさらに広域的な利害関係者との連携に関する有効性を検討する。 3-7：一連の活動について、PGIRH についての効果を評価する。
8. 実施期間	2024年12月～2027年12月（3年）
9. 事業費概算額	53,261千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	メキシコ市統合水管理局およびリスク統合管理・市民保護局（SGIRPC）
II. 団体の概要	
1. 実施団体/指定団体	名古屋市/名古屋市上下水道局
2. 主な活動内容	名古屋市および周辺地域における上下水道事業。1978年以降、270名を超える技術者を海外派遣、1750名以上の研修員受入を実施、草の根技術協力事業を複数実施するなど、国際協力活動にも取り組んでいる。